

～自分が出来ること何か、地域や環境のために～
加藤 建二さん(今治市)



(株)リサイクル加藤 代表取締役 1974年生まれ
里山を良くする会 代表
今治地区林業研究グループ協議会 会長
フェイスブック <https://www.facebook.com/kenji.katou.71>

☆経営概況☆

- ・設立 2006年
- ・一般廃棄物収集運搬・処分、竹林整備等
- ・堆肥生産・販売（天然素材 100% 自然の恵みを実感できる堆肥「大地の恵」）
販売実績 8t (2015)

☆ここがポイント☆

■堆肥「大地の恵」

この製品が生まれたきっかけは、これまで焼却処分されていた剪定枝と近年環境問題にもなっている竹とを何とか再利用できないかという思いからです。「大地の恵」を用いることで土が団粒化して透水性や保水性が増し、有用微生物が増加します。土そのものが元気になることで美味しい作物ができるのはもちろん、これまで焼却されてきた木や竹の持つ炭素が土壌に貯留でき、大気中の二酸化炭素を減らすカーボンダイエットにも貢献する堆肥です。

■竹林整備

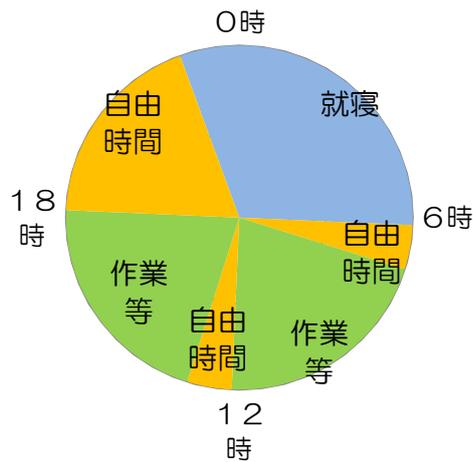
竹林を整備することで、放置竹林の減少、タケノコなどの林内産物の有効活用ができます。竹の生命力と繁殖力は資源としてとても有望です。当方は主に堆肥として利用しておりますが、他にもバイオマス燃料を始め様々な分野で研究されています。竹の二酸化炭素吸収量を考えれば、利用すればするほど環境に役立つのではないのでしょうか。

そんな雄大な野望は出来ませんが、自分にも出来るちょっとした実験や利用から始めて、地域にも環境にももちろん自分自身にも良い事が出来るのは嬉しいことです。



チッパーによる竹の粉碎

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

■ ボランティア

基本的に天気によって左右される作業なので、晴れの日には竹林に入ることが多いのですが、家庭菜園や堆肥作りも行っています。雨の日には比較的にんびりしています。

その代わりに、忙しいときは曜日に関係なく竹林に通いつめます。自分の仕事で山主や周りの人から感謝の言葉をいただけるとやはり嬉しいです。ここのように遣り甲斐を感じます。

また、勉強のために県外に出ることもしばしば。観光している余裕がないのが残念ですが、成果があれば大満足です。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	晴れの日にはほぼ竹林の中にいます。(悪天候等で作業ができないときは休日)					
← 作業等 →						
【普通期】	作業等 (日曜日にもボランティアやイベントが多く雨天時は休日)					
← 作業等 →						→ 休日 →



イベントにて



水田に施肥実践中

☆ これからの夢や目指すもの ☆

■ かつての姿を～邪魔者から資源へ～

竹の繁殖力を考えると利用すればするほど環境のためになります。生命力溢れる竹は野菜や果物、米と言った農作物に対して相性が抜群で、美味しい農産物が出来ます。管理された竹林は癒し空間にも早変わり。これからも竹の復権を目指し身近なところから一歩ずつ頑張っていきます。

☆ メッセージ ☆

■ 美味しい野菜を自分で作ってみませんか！

やっぱり、自分で作るのは楽しいものです。それが美味しいのなら尚更です。竹の堆肥を使って美味しい野菜の家庭菜園はいかがですか？また竹粉コンポストで野菜くずを堆肥にすれば、ごみの減量にもなります。